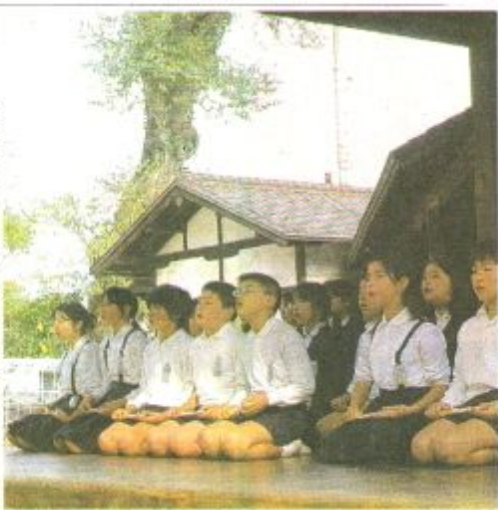


back

## 能の練習成果 舞台で最終確認

鞆の園児ら、あす発表

福山市鞆町、市立鞆幼稚園の年長1人と市立鞆小6年40人、市立鞆中1年23人は10日、地元の沼名前神社能舞台(重文)で日ごろ学



本番に備え、連吟のリハーサルを行う子どもたち(福山市鞆町の沼名前神社で)

んでいる能の成果を12日に発表するのを前にしたりハ一サルを現地で行い、連吟や仕舞などで息の合ったところを見せた。

演目は、天女の舞いを表現した連吟「羽衣」と、地元を題材にした連吟「鞆のむろの木」、新年のめでたさを詠う仕舞「月宮殿」。

舞台上上がった子どもたちは緊張した表情で、喜多流シテ方の能楽師、大島衣恵さんから「背筋を伸ばして」「視線をしっかり定めて」などと指導を受けながら、声に抑揚をつけていた。6年、阿部良紀君(12)は「みんなが大きな声を出して頑張る姿を見てほしい」と話していた。午前10時〜正午、入場無料。



午後2〜4時には、大島さんから能楽師や狂言師による「鞆の浦歴史ロマン 魅了の名舞台」が上演される。料金はワキ指定席4000円、自由席3000円、学生自由席(小学生〜大学生)1000円。問い合わせは、喜多流大島能楽堂(0884